

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年7月9日(2020.7.9)

【公表番号】特表2019-521968(P2019-521968A)

【公表日】令和1年8月8日(2019.8.8)

【年通号数】公開・登録公報2019-032

【出願番号】特願2018-561622(P2018-561622)

【国際特許分類】

A 6 1 K	47/56	(2017.01)
A 6 1 K	47/59	(2017.01)
A 6 1 K	47/58	(2017.01)
A 6 1 K	47/61	(2017.01)
A 6 1 K	47/60	(2017.01)
A 6 1 K	47/62	(2017.01)
A 6 1 K	31/436	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/24	(2006.01)
A 6 1 P	25/08	(2006.01)
A 6 1 P	25/18	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/22	(2006.01)
A 6 1 P	11/08	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	5/44	(2006.01)
A 6 1 P	3/02	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	33/06	(2006.01)
A 6 1 K	47/54	(2017.01)

【F I】

A 6 1 K	47/56
A 6 1 K	47/59
A 6 1 K	47/58
A 6 1 K	47/61
A 6 1 K	47/60
A 6 1 K	47/62
A 6 1 K	31/436
A 6 1 P	25/04
A 6 1 P	29/00
A 6 1 P	25/24
A 6 1 P	25/08
A 6 1 P	25/18
A 6 1 P	35/00

A 6 1 P	43/00	1 1 3
A 6 1 P	43/00	1 1 2
A 6 1 P	25/06	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	33/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	11/08	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	5/44	
A 6 1 P	3/02	
A 6 1 P	3/02	1 0 1
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	33/06	
A 6 1 K	47/54	

【手続補正書】

【提出日】令和2年5月26日(2020.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者の胃に投与するための胃内滞留システムであって、前記胃内滞留システムは：

エラストマー成分、ならびに担体ポリマー及び前記エラストマー成分に結合している治療薬又はその塩を備える複数の少なくとも3つの担体ポリマー-薬物成分を備え、

前記複数の担体ポリマー-薬物成分の各々は、近接端部、遠位端部、及びそれらの間の外面を備える細長部材であり；

各細長部材の前記近接端部は、前記エラストマー成分に結合し前記エラストマー成分から放射状に突出しており、各細長部材は、前記エラストマー成分に結合していないその遠位端部を有し、前記近接端部より前記エラストマー成分からのラジアル距離が大きい位置にあり；

各細長部材は、1つ以上のセグメントを独立して備え、各セグメントは、近接端部、遠位端部、及びそれらの間の外面を備え；

少なくとも1つの細長部材の少なくとも1つのセグメントは、強化材をさらに備え、前記強化材は、前記少なくとも1つのセグメントに沿って軸方向に延び；及び

2つ以上のセグメントが細長部材内に存在する場合、各セグメントはリンク領域により隣接セグメントと結合している、

前記胃内滞留システム。